

当園ではこの度、2020年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価及び学校関係者評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

当園は子供たちの無限の可能性を伸ばすために、その人格形成の基礎となる大切な幼児期を、のびのびと明るく楽しく、すくすくと元気に、また、心優しく情操豊かに過ごせるよう、さまざまな経験や活動を実践しています。

II. 今年度の重点目標

- 教職員の資質向上 ●安全管理体制の充実 ●家庭との協力・連携 ●サービスの向上

III. 評価項目と取組み状況

評価項目		取組み内容	評価	取組み状況
1	教職員の資質向上	読み聞かせから知識やルール、愛情や優しさなど様々なことを学べるため、引き続き積極的に取り組んでいきたい。新人とベテランとでは読み聞かせ技術に差があるため、新人への技術指導を進めていく。	A	園児がストーリーや文字を覚えるほど、全学年合同朝礼やお部屋での絵本の読み聞かせを行った。園児の集中力の醸成にもつながっていると思う。 またベテラン職員が前に出て読み聞かせを行うことで、声や表現方法の工夫を若手職員が学ぶ機会を作ることができ、スキルアップにもつながっている。
2	安全管理体制の充実	様々な種類の災害に対応できるよう、日頃から職員間で防災に関する話し合いを行っていく。また子どもたちにも訓練の重要性を伝えていきたい。	A	ここ数年で様々な災害が増えている中、園長先生による防災・安全管理についてのお話を聞く機会が多く、職員や子どもたちも防災への関心が高まっているようである。 また、手洗いやうがいなどの衛生管理も徹底している。 ニュースを題材にするなどして、職員同士が防災・安全対策について話し合う機会も設けることができ、有事の際に速やかに行動するための土台作りができている。
3	家庭との協力や連携	徒歩登園と比べてバス登園の保護者との接点が少なくなってしまうため、意識してコミュニケーションをとっていく必要がある。	A	マスク着用が日常化したことにより園児や保護者の表情が分かりにくくなったが、声のトーンや様子をみて適切な声掛け・コミュニケーションを心掛けている。 従来通り、連絡ノートや電話も使って保護者と密な連絡をとることで、安心してもらえるように意識している。 担任以外の職員や園長先生との報連相も意識的に行うことで、多くの職員が保護者に声をかける風土が培われている。

評価項目		取組み内容	評価	取組み状況
4	サービスの向上	より良い教育を提供し続けるためにも、フリーで動くことのできる職員の確保が急務であると考えております。また、新人職員への指導方法、保育準備などの見直しも進めていきたい。	A	ベテランが若手をフォローする体制がとれており、判断に困るときには園長先生が的確な指示をしてくれるため、若手職員からも相談しやすい環境であるという声が多い。 より良い教育を提供するためには、職員同士のコミュニケーションも重要であるため、引き続き職員間の連携を重視していきたい。

【評価の基準】	
S	十分達成されている
A	達成されている
B	取組まれているが、成果が十分でない
C	取り組みが不十分である

IV. 今後取り組むべき課題

1	教職員の資質向上	読み聞かせは本園の特徴であるため、今度も継続していき、子どもだけでなく職員の心の成長にもつなげていきたい。読み聞かせが特定の職員に偏ることのないよう、若手職員にも前に出る場を積極的に作っていく。また、これまでは園長先生が良い絵本を選んで下さっていたが、職員もその力を育んでいく必要がある。
2	安全管理体制の充実	引き続き、職員会議などで防災や安全管理について確認し合う必要がある。コロナ禍の影響もあり、避難訓練や不審者対策などが十分だったとは言い難いため、安全を徹底した上で各種訓練を実施していきたい。
3	家庭との協力・連携	感染対策上、保護者・園児との直接の会話頻度が減っている傾向にあるため、連絡ノートや電話なども活用しつつ、可能な限り直接コミュニケーションをとっていきたい。また、園長先生にも密に報連相を行うことで、適切な返答や会話を行い、ご家庭との信頼関係作りにもさらに力を入れていきたい。
4	サービスの向上	ベテランと若手との間に力量に差があるのは当然のことなので、ベテランはフォローしながら教える、新人は自ら積極的に相談して動く、といった意識を引き続き維持する。その結果、幼稚園全体のレベルアップにつなげていきたい。

V. 学校関係者の評価

※WEBにて開示する書類については、関係者の名前を削除してあります。 コロナ禍の中で、教育現場も大変ですが、子どもたちに手洗い・うがい・歯磨きの指導を丁寧にされており、園内のコロナウイルス感染者を出さずに保育をされていることに感心致します。園内の清掃や消毒も行き届いており、子どもたちの健康と安全を守る為に努力されている様子がわかります。未来ある子どもたちの為に、これからも子どもたちの心の教育を大切に進んで下さい。 読書教育、音楽教育、製作、運動遊びなど、子どもたちの教育を一番に考え保育をされているのが伝わって参ります。子どもたちの運動能力が低下してきている中、園では子どもたちが広い園庭でおもいきり走り回り、子どもたちの健康な体作りにも努めていることがわかります。これからも幼稚園の教育の質を維持し、さらなる発展を願っております。 園内に入ると子どもたちが元気よく挨拶をしてくれます。挨拶や感謝などの礼儀作法を大切に指導されているのが伝わって参ります。明るく穏やかな子どもたちの様子から、心育を大切に教育をされている成果がうかがえます。園長先生はじめ、ベテランの先生、若手の先生とともに協力して日々の保育を大切にされているのが伝わって参ります。これからも質の高い教育を目指し、精進してください。 コロナ禍の中で、どの園も日々の保育や行事のあり方を模索する中、子どもたちのことを1番に考えて安心安全な環境のなか、保育をされている様子が伝わって参ります。地域の方々や卒園生・卒園生の保護者とも永く絆をもっておられるのは尊いことだと思います。これからも伝統を大切に心育でに励んで下さい。 園長先生はじめベテラン・若手の先生全体で連携がとれていて園全体で子どもたちの成長を支えている様子が伝わって参ります。コロナ禍で大変な中、子どもたちにうがい・手洗い・顔洗いのこまめな指導と毎日の先生方の清掃や消毒のお陰で今のところ園内のコロナ感染者がなく過ごされていることは素晴らしいと思います。これからも子どもたちの為に安心安全な環境づくりに努めて下さい。 質の高い教育を目標として、一人一人を大切に丁寧に指導されていることが伝わってまいります。これからも道徳心のある教育を継続し、優しさあふれる幼稚園を築いてください。 コロナ感染拡大防止の為、中止せざる得ない行事もありますが、可能な限り日を分けて分散で行うなど、感染対策に十分に配慮しながら、子どもたちの為に努力されている様子が伝わって参ります。これからも心の教育を継続し、優しさあふれるたのしい幼稚園を築いてください。
